

## 2026年度 学校推薦型選抜 総合問題

工学部工学科 環境・社会基盤系

### 注意事項

- 1 解答始めの合図があるまで、中の頁を見てはいけません。
- 2 問題用紙は5枚（表紙を含む）、解答用紙は4枚、下書き用紙は4枚です。
- 3 解答始めの合図の後、問題用紙、解答用紙、下書き用紙の枚数を確認してください。
- 4 試験中に問題用紙の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等により解答できない場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答用紙のホッチキス留めは外さないでください。
- 6 すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
- 7 解答は解答用紙の指定された箇所に記入してください。解答用紙の裏面は使用できません。
- 8 試験終了後、問題用紙と下書き用紙は必ず持ち帰ってください。

(空白)

(問題は次頁より始まります)

2026年度 学校推薦型選抜 総合問題

(工学部工学科 環境・社会基盤系)

第1問

以下の文章を読み、問1～問3に答えなさい。

(A)の影響により豪雨や台風などに起因した水災害が激甚化・頻発化する中、これに対応するため、国や自治体では図-1に示す「流域治水」への転換が進められている。

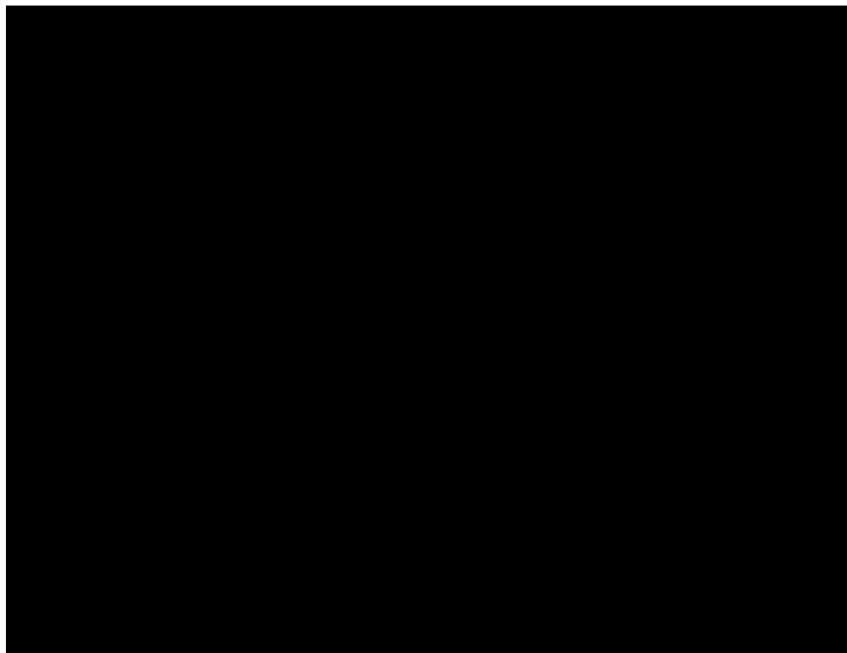
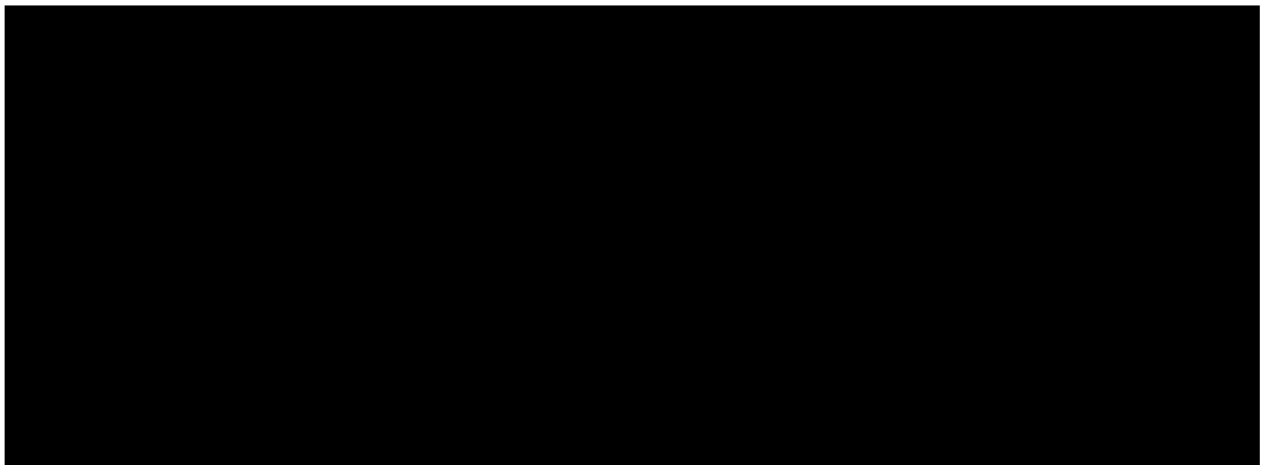


図-1 「流域治水」の基本的な考え方（国土交通省，水管理・国土保全局資料より抜粋）



（出典：国土交通省，国土交通白書 2025. 一部改変）

注釈)

- 1) 集水域：雨水が地表に降り、川に流れ込むまでの地域。山や丘なども含まれる。
- 2) 氾濫域：大雨などで川があふれたときに水が広がる可能性のある地域。住宅地や農地などが含まれることがある。
- 3) 貯留・浸透機能：雨水を一時的に溜めたり、地面にしみ込ませたりすることで、川への急激な流入を防ぐ機能。森林や田畑、雨水貯留施設などがこれにあたる。

問1 本文中の (A) に当てはまる適切な用語を答えなさい。

問2 本文では、「流域治水」が従来の治水と異なり、氾濫域も含めた広域的な対策であると述べられている。このような考え方の利点について、あなたの考えを 150～200 字で述べなさい。

問3 本文では、ハード・ソフト両面からの多層的な対策が重要であるとされている。災害時のソフト対策として、地域住民が平常時から取り組める対策を一つ挙げ、その効果について 150～200 字で述べなさい。

## 2026年度 学校推薦型選抜 総合問題

(工学部工学科 環境・社会基盤系)

### 第2問

以下の文章を読み、問1～問3に答えなさい。

ニジェールは西アフリカの内陸国で、国土の大部分が乾燥したサヘル地帯に位置する。降水量は少なく雨季と乾季が明確に分かれている。深刻な貧困に直面しており、かんがい<sup>1)</sup>整備率は長年にわたって数%未満にとどまっている。このため、農業の多くは雨水に頼る天水農業となっている。主要作物のひとつであるミレットは、主食や家畜の飼料として広く利用されている。図-2には、2002～2014年のニジェールにおける年間降水量とミレット生産量(単位面積あたり)の推移を示す。

注釈)

<sup>1)</sup> かんがい：農作物を育てるために必要な水を、用水路・ため池・ダムなどを使って人工的に農地に供給すること。

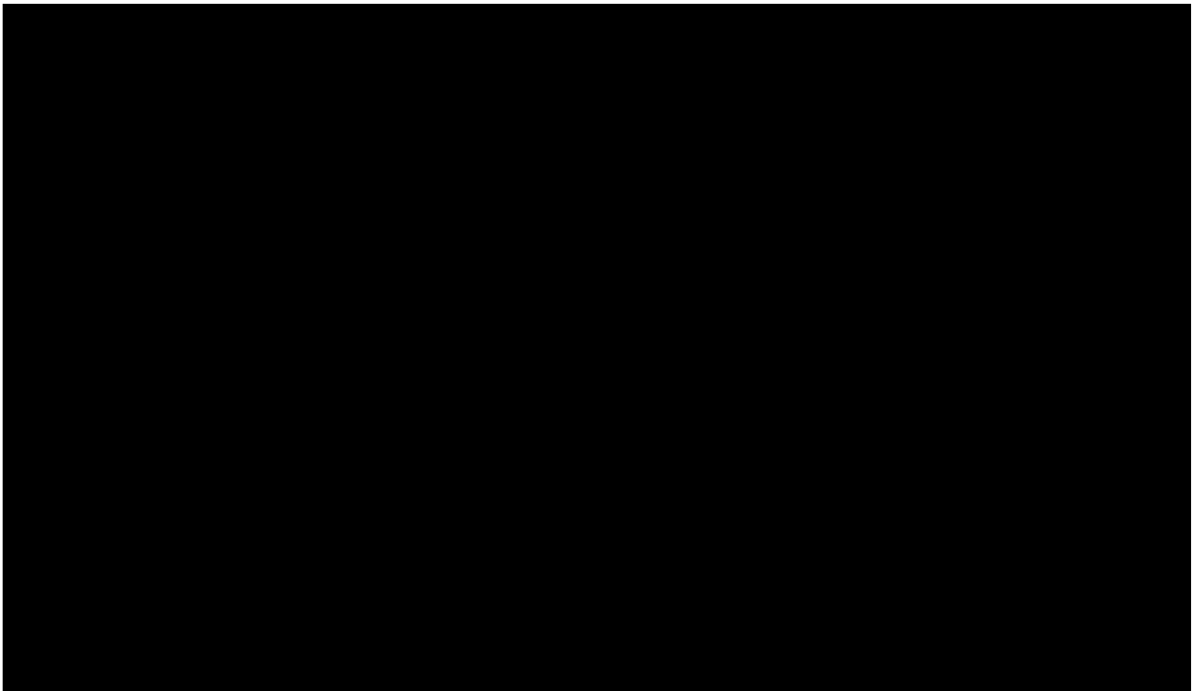


図-2 ニジェールにおける年間降水量およびミレット生産量の推移 (2002～2014年)

(出典：Wouterse, F. and Odjo, S. (2021), Weather Shocks and Planting Stage Investments: Evidence from Niger, The Journal of Development Studies, Vol.57, No.12. 一部改変)

問 1 図-2 から読み取れる，年間降水量とミレット生産量の関係について説明しなさい。具体的な数値や年次を挙げて 100～150 字で答えること。

問 2 問 1 で述べた年間降水量とミレット生産量の関係について，より客観的に確かめるためのデータ分析を行うとする。この場合，2002～2014 年の各年の「年間降水量」と「ミレット生産量」のデータを用いて，どのようなグラフを描き，どのような統計的な処理を行うとよいか，150～200 字で説明しなさい。

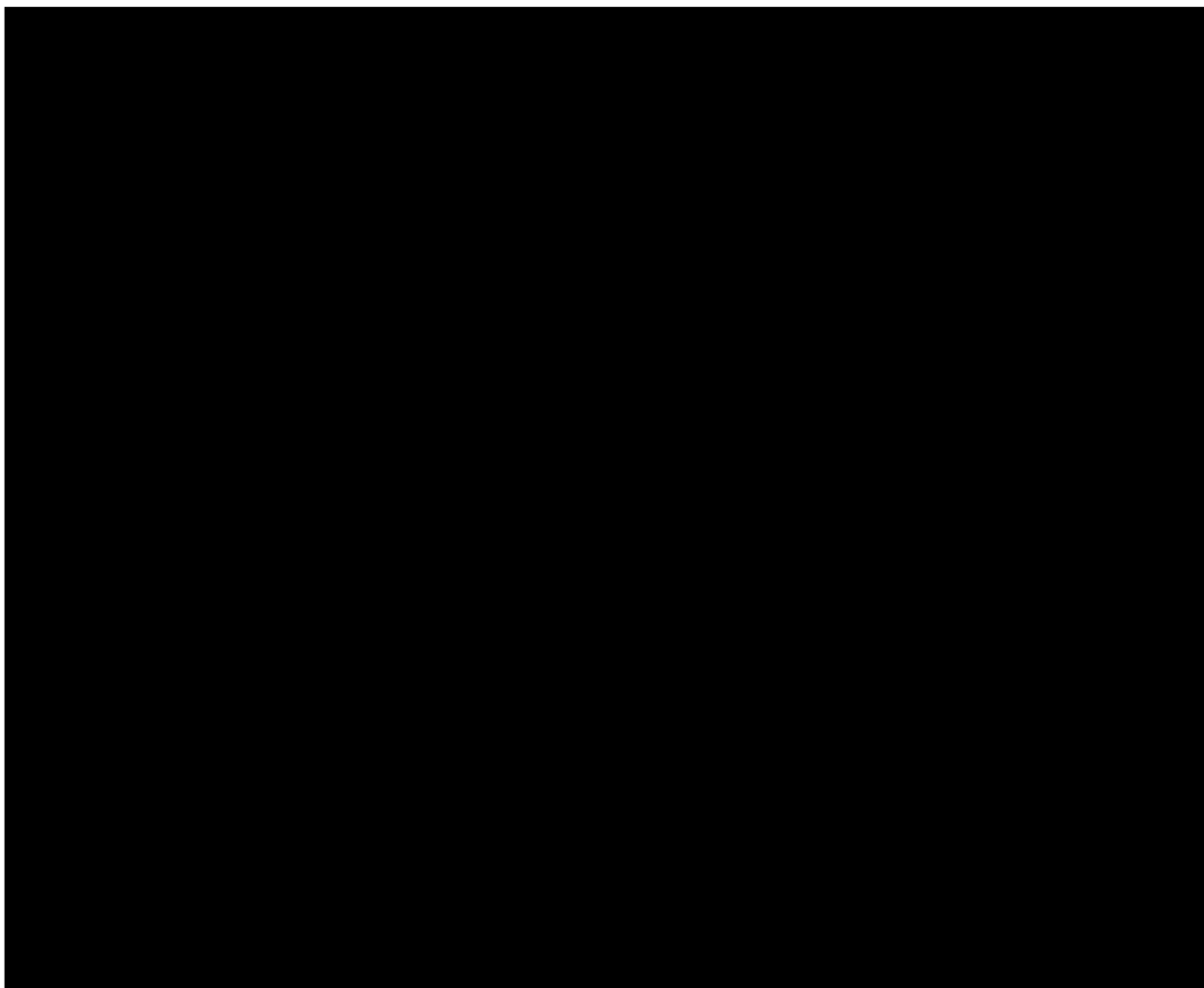
問 3 ニジェールのような地域で食料生産を安定させるためには，どのような取り組みが有効であると考えられるか，150～200 字であなたの考えを述べなさい。

## 2026年度 学校推薦型選抜 総合問題

(工学部工学科 環境・社会基盤系)

### 第3問

以下の文章を読み、問1～問3に答えなさい。



(出典：World Bank (2024), AI Revolution in Education: What You Need to Know, pp.6-7. 一部改変)

#### 語注)

sophisticated: 高度な, 精巧な; personalizing instruction: 個別化された指導を行うこと; automating administrative tasks: 事務作業を自動化すること; leverage AI: AIを活用する; benchmark: 基準, 模範; tailored to: ～に合わせて調整された; integrating AI into: AIを～に組み込む; proliferate: 急速に広がる, 普及する; stakeholders: 利害関係者; implementation: 導入, 実施; AI-detection tools: AI生成文を検出するツール; false accusations: 誤った告発 (誤って不正行為だと疑われること)

問 1 下線部①, ②を和訳しなさい。

問 2 本文中で述べられている AI を教育に導入する際の「利点」について, 日本語 80~100 字で説明しなさい。

問 3 AI を教育に導入する際の「課題」について, 本文の内容と関連付けて日本語 250~300 字であなたの考えを述べなさい。

(空白)